

藤岡市議会だより



◆発行日 平成10年5月1日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会編集委員会 ◆印刷 株式会社エスエイ印刷

第2号



完成した藤岡市防災センター

3月定例会のあらまし

定例会は、2月25日から3月11日までの15日間の会期で開催されました。

平成10年度藤岡市一般会計予算など31議案が提出されました。

また、議員提出議案として1議案が提出されました。

◇25日Ⅱ本会議 会期の決定、議案31件を上程、うち19議案を即決、12議案を各委員会に付託。

◇26日Ⅱ総務常任委員会、教務厚生常任委員会。

◇3日Ⅱ予算特別委員会。

◇4日Ⅱ予算特別委員会。

◇6日Ⅱ本会議 一般質問。

◇11日Ⅱ本会議、委員会付託・市長提出議案12件を可決。議員提出議案1件を即決

一般質問

青少年健全育成

について

針谷 賢一

問 最近青少年の悲惨な事件が多発しているが、本市の子供達を取り巻く環境は、どのような状況になっているのか、また現

在、対応はどのような様になっているのかお聞かせ下さい。

答 現在テレホンクラブが1ヶ所営業している。これに関連するテレホンクラブのプリペイドカードの自販機は一台もない。有害な雑誌やビデオ自販機は、5ヶ所18台が設置されている。現在の対応として、環境浄化を図るための運動として、有害図書等の自販機をなくすための運動と合わせ、国・県・警察などとの関係機関とも連携を取り合い、青少年の健全育成を目指した啓発活動や広報活動にも取り組んでいます。

問 本市の教育行政についてお聞かせ下さい。

答 学校教育の充実、一人一人を大切にする、子に合った楽しい授業づくりを行う、心の教育の推進、学校体育やスポーツ振興の推進、そういう学校教育に一層力を努めて行きたい。

防災体制について

針谷 賢一

現在の消防体制と、常設消防の推移についてお聞かせ下さい。

答 国で定めた基準ですと、本市の場合2ヶ所の消防署が必要となる、現在は1ヶ所である。

次に昭和57年の消防職員が49人、市の人口5万5639人、火災発生件数28件、救急出動件数697件、15年後の平成9年の消防職員が44人、市の人口6万3516人、火災発生件数41件、救急出動件数1187件でございます。

問 本市では、他に消防署を設ける予定はあるのか、又消防職員の増員を考えているのか。

答 市街地から離れている日野や今後開発が進んでいく、インター周辺に将来的には必要かと思ひます。又現況の人員では十分ではないと考えられますので、将来を見据えて対応を広域圏の関係市町村と協議して、防災体制の充実を図っていききたいと考えています。

藤岡市女性職員の

管理職登用について

大戸 敏子

市女性職員の管理職の現況につき男女の差別があるか、又今後の対応策についての質問。

問 市女性職員の現況は。

答 職員全体で457人中、男309人、女148人の32・4%。採用試験昇格基準は男女とも同じ基準です。高卒で19年

経つと係長代理となります。大卒では4年短縮です。係長代理118人中、女71人。係長49人中、女7人。課長補佐以上部長迄96人中、女ゼロ。係長代理の現在の平均年齢は、男41才、女46才。係長では男43才、女51才です。

問 女性職員の管理職ゼロの理由と今後の対応策について。

答 登用者側の登用意識の差と以前の男女の昇給基準の違い、女性側の意識の低さ、自立心欠如が大でした。今後は女性の意識改革を前提に勤務評定結果を参考とし個々の資質や適正意欲等総合的に判断し、男女の区別なく昇格を行っていきたい。女性職員の進出と活躍を期待します。

農業振興株式会社について

青柳 正敏

問 農業振興株式会社は民主導すべきかと思うが、又堆肥センターの建設地について伺いたい。生産規模が大きすぎないか販売計画は立っているか、新構造改革事業による堆肥化施設と競合しないか伺います。

答 堆肥センターは経営が安定すれば民主導も可能性があり、建設地は平井地区内を計画している。平井地区の堆肥化施設は環境面の解決が難しく良質堆肥生産は難しいと思う。販売見積りは市内3農協3万4006袋、JAグリーン4066袋、市内ホームセンター1万3333袋、ゴルフ場関係15万8266袋で積極的利用推進を図り農家利用の低価格化に務めたい。

問 減反政策について後継者育成上耕種型認定農業者に対し減反を免除すべきと思うが。

答 県、国に働きかけ十分検討していきたい、集団転作を考慮し農業法人の育成をしたい。

農業振興株式会社については全市民の協力があつて成功するものと確信し、今後の協議を願いたい。

藤岡市消費者生活センター

設置について

松本 潔

消費者保護行政の一環として各自自治体が消費者生活センターを設置しその実を上げています。当市における消費者保護行政についてたてました。

問 県内11市中9市が既に消費者生活センターを設置しているのになぜ遅れているのか。

答 平成7年度に県から話があり、担当課において十分な検討を重ね、平成10年度に設置するということになりました。

問 今までに市民から寄せられた相談件数と対応窓口は。

答 県のセンターへ寄せられた藤岡市分が、平成8年度162件、同9年度116件、直接市に寄せられたものは平成8年度13件、同9年度2件です。対応窓口は商業観光課です。

問 設置後の相談件数の見込みと500万円（限度額）の県補助金の活用は、

答 相談件数は200件ぐらいと見込んでおります。

県の補助金は、申請し活用していきたいと考えております。

藤岡市の保育行政について

松本 潔

児童福祉法の一部改正に伴う市の保育行政の対応についてたてました。

問 保護者の保育園選択の保障に対する対応が不十分（上毛2/9付）である今後の対応は。

答 平成11年度の募集に間に合うようパンフレットをつくる考えでおります。

問 保育料は10年度は据え置きとのことですが、11年度も据え置きか値下げする考えは。

答 11年度は、10階層から7階層への改定に合せ見直していきたいと考えております。

問 法改正に伴う衆・参両院の付帯決議を市の保育行政にどう生かしていく考えか。

答 趣旨を考慮して保育需要への対応に努力していきたい。

問 市民生活に直結する問題は、他市に比べ遅れている。総点検して追いつけ追い越せの施策をとる考えは。

答 みんなが渡ってから渡るといふようなことは、積極的に改善していきたい。

大規模開発の見直し、及び

生活基盤の優先について

清水 保三

問 今後10年間で市単位で持出す財政支出が115億8000万円、内訳は北藤区画整理68億、みかほみらい館30億、インター周辺開発17億8000万円さらにインター周辺150ha開発のための調査費等こんな膨大な数字になる。特に花の交流館については採算性の調査もなし、将来展望も呈示されないまま建

設するのは問題ではないか、今後の財政運営についてどの様な見解を持っているか。

【答】 確かに今、抱えている財政問題は指摘の通りだと思えます、財政計画では、当然中長期的な計画を立てながら推進して行く。

【問】 市民からの要望が土木課、農村整備課合せて15億6300万円あるが花の交流館1年見送るだけで解決する。今後3年間で解消する決断を求めます。

【答】 インター周辺開発は藤岡市の未来に向かって、最も重要なことである。

放課後児童健全育成事業

(学童保育) について

高橋 恒男

【問】 昨年、これまでの学童保育事業が児童福祉法に法制化(公的義務の発生)されました。

現在の保育児童数・利用施設数・指導員の雇用と総数・平成6年度から平成10年度の5年間の市独自の補助金の合計数はいくらか。

【答】 児童数127人・利用施設6ヶ所・指導員数10人・雇用は保護者会と保育所の経営者、補助金の合計数は2177万6

333円。

【問】 法制化後の対応について厚生施設の設置は小学校校区ごとに・児童館の利用計画・空教室の開放は。

【答】 施設は小学校ごとに1クラブ程度を考えたい。児童館に併設の学童保育所の職員は、館長1名・児童厚生委員3名計4名を考えている。この人たちと運営していく。空教室の解放は調整をしたい。

【問】 昨年度予算からみて本年度予算は01%しか増えていない。増額を考えているのか。

【答】 積極的に取り組む考え。

防災センターについて

吉田 達哉

【問】 藤岡市防災センターが開設の運びとなりましたが、造った物をいかに有効活用すると同時に市民に対して防災意識をいかに高めるかが大切であります。そこで現在の場所を選んだ理由を伺いたい。

【答】 被害の情報収集、被害に対応する個別事項を市組織の部単位に行う為、市役所敷地が最も活動しやすい適地。

【問】 消防署やその他の関係機関との連携について伺いたい。

【答】 藤岡市地域防災無線を警察署、消防署、財務事務所など11ヶ所に設置済みなので無線にて連絡を行う。

【問】 施設の管理体制を伺いたい。

【答】 市民安心課で管理を行ない万全な体制がとれるよう職員の増員を図りたい。

【問】 全市民的防災体制を伺いたい。

【答】 市職員は地震の場合は自主登庁し、他の災害時は電話等で連絡後登庁、婦人防災クラブ等の奉仕団体は防災班、物資班、健康管理班について応援協力を求めている。

藤岡市政のあり方について

久保 信夫

【問】 21世紀に向けての今後の市政運営の基本的な考え方を伺います。

【答】 21世紀を目前に、地方自治制度をとりまく環境にも、大きな動きが出てきています。地方公共団体の自主性・自立性を確立し、活力ある地域社会を形成するにはどうすべきか、これを念頭に置き、今後の政策運営における基本的な考え方は、

まず、市政における基本姿勢は、市の主権は市民にあり、市民参加による政策形成が何よりも重要です。そのため、できるだけ多くの市民と語り合う場を設け

市民ニーズの把握に努めています。次に、基本姿勢では5つの政策を柱とした基本づくりを目指しております。1. 立地特性を生かしたまちづくり、2. 歴史や自然を生かしたまちづくり、3. 市街地活性化とにぎわいのあるまちづくり、4. 安全・安心と生きがいのあるまちづくり、5. 自立できる農業振興、これらの政策を中心とした市政運営を目指していきたい。

群馬藤岡駅東地域の整備について

青木 寛

【問】 駅の東地域は、市道小林立石線を境に市街化区域と調整区域に分かれます。まず、市街化区域ですが、道路網や下水、排水対策などの基盤整備が行われないまま急速に住宅等が建てられた結果、緊急自動車等が通行できない道路や、大雨の際、排水があふれるなど、弊害が生じています。次に、調整区域ですが道路や排水は、旧態依然と

したもので、道路拡幅等の整備はほとんど行われていません。今後の本地域の整備方針、改善策を具体的に伺いたい。

【答】 具体的な検討課題として、駅周辺地域の整備並びに市道小林立石線のアクセス道路の新設、そして国道254のアクセスを図り、交通の保全を図るために北部環状線の部分的な整備を進めていく。しかし、いずれも大規模な事業が予測されるわけで今後国や県と協議を進めながら年度計画に組み入れていきたい。

会派視察

(日本共産党市議団)

高橋 恒男

実施日 平成10年3月24日

視察地 宇都宮農林公園(第三セクターに委託)

視察目的 藤岡市が建設予定の「花の交流館」の運営に参考とするため

重点研修 フラワードームの経営内容

フラワードームは農林公園内の一施設で面積3072㎡の一棟であり、植物園・ハイテク野菜工場・洋さんの展示がありま

す。平成8年9月オープン。洋らは2ヶ月に一回展示替えをしております。ドームの管理費は年間1億4000万円・入館料は1人400円で4000万円の収入でドームだけでは採算はとれない。収入の多い施設は宿泊施設のある温泉館・地ビールレストランであります。

公園の委託料として市から2億2000万円が補填されている。研修の結論は、藤岡市の計画は主たる収入施設がなく採算が成りたないのではないかと。

なお、研究の予知が必要であり、慎重に対応すべきである。

議 案 等 審 議 結 果

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第 1 号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 2 号	藤岡市旅費支給条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 3 号	藤岡市税条例等の一部改正について	可決 (全員一致)
第 4 号	藤岡市勤労者住宅建設資金融資促進条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 5 号	藤岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 6 号	藤岡市浄化槽清掃業の許可に関する条例の一部改正について	可決 (賛成多数)
第 7 号	藤岡市保育所条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 8 号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 9 号	藤岡市水道事業給水条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 10 号	藤岡市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 11 号	藤岡市防災センター設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (全員一致)
第 12 号	藤岡市環境基本条例の制定について	可決 (全員一致)
第 13 号	藤岡市史跡公園の設置及び管理に関する条例の制定について	可決 (全員一致)
第 14 号	市道路線の認定について	可決 (全員一致)
第 15 号	平成9年度藤岡市一般会計補正予算 (第3号)	可決 (全員一致)
第 16 号	平成9年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)
第 17 号	平成9年度藤岡市老人保健特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)
第 18 号	平成9年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員一致)
第 19 号	平成9年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)
第 20 号	平成9年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)
第 21 号	平成9年度藤岡市簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全員一致)
第 22 号	平成9年度藤岡市水道事業会計補正予算 (第1号)	可決 (全員一致)
第 23 号	平成10年度藤岡市一般会計予算	可決 (賛成多数)
第 24 号	平成10年度国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決 (全員一致)
第 25 号	平成10年度藤岡市老人保健特別会計予算	可決 (全員一致)
第 26 号	平成10年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決 (全員一致)
第 27 号	平成10年度藤岡市烏川橋梁整備特別会計予算	可決 (全員一致)
第 28 号	平成10年度藤岡市学校給食センター特別会計予算	可決 (賛成多数)
第 29 号	平成10年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決 (賛成多数)
第 30 号	平成10年度藤岡市簡易水道事業特別会計予算	可決 (全員一致)
第 31 号	平成10年度藤岡市水道事業会計予算	可決 (賛成多数)
議員提出議案		
第 1 号	じん肺り患者の救済とトンネルじん肺根絶を求める意見書の提出について ※以上1件については、請願採択後議員提出として上程され国へ意見書を提出した。	可決 (全員一致)
請 願		
第 1 号	じん肺り患者の救済とトンネルじん肺根絶を求める意見書の提出についての請願	採択 (全員一致)

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎22-1211内線361)へ

〃 〃 〃 〃

委員 久保 信夫
副委員長 川野 盛幸
委員 吉田 達哉
高橋 良男
高橋 恒男
平井 徳雄
茂木 寿雄

藤岡市議会事務局内
議事室より編集委員会宛

藤岡市中栗須327番地

郵便番号 375-8601

集委員会までお寄せ下さい。

お気づきの点がございましたら、編集委員会までお寄せ下さい。

市議会だよりに対するご意見や、

としていきたいと考えております。

わかりやすく、興味ある議会だより

が、今後工夫を重ね、議会の動きを

掲載することは出来ませんでした

3月定例会も、本会議や委員会に

おいて活発な議論がなされ、全てを

掲載することは出来ませんでした

が、今後工夫を重ね、議会の動きを

掲載することは出来ませんでした

3月定例会も、本会議や委員会に

おいて活発な議論がなされ、全てを

掲載することは出来ませんでした

が、今後工夫を重ね、議会の動きを

掲載することは出来ませんでした

編集後記

市議会だより第1号の感想はいかがでしたでしょうか？

第2号発行にあたり、編集会議を開催した中で、第1号の反省点や、これから取り入れたい事項など活発な意見がありました。